

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 音 楽

調査研究報告書

(小委員会名： 音楽)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>(1) 第1回小委員会 (6月19日)</p> <p>2者の教科用図書について、調査研究の観点、手順を協議した。調査研究にあたっては、学習指導要領の目標や内容、地域の実態等を踏まえ、道教委発行の「採択参考資料」等をもとに、「中学校用教科用図書採択参考資料作成要領」ののってって次回の小委員会まで資料を作成することとした。</p> <p>(2) 第2回小委員会 (7月6日)</p> <p>2者の教科用図書について各委員が調査研究した結果に基づき、観点別に内容等を協議し、調査研究の結果について報告書を作成した。</p>
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説4 その他 ()
3. 少数意見等	特記事項なし

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	音楽・701 音楽・801 音楽・802	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までと我が国の民謡について、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けることができるよう創意工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 斉唱から混声四部合唱までと我が国の伝統的な「唄」について、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏とあわせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解し、関連鑑賞教材を選択教科として聞いたりする活動を通して、自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞できるようになっている。</p> <p>第2・3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、リズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞できるようになっている。</p> <p>○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 活動内容に示された[共通事項]を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>第2・3学年～ 活動内容に示された[共通事項]を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>第2・3学年～ 「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>排内 列容 ・の 分構 量成 等・</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「Let's Sing!」で発声の基本や歌唱表現のための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 楽譜が大きく見やすいものとなっており、大事な旋律を色分けし理解しやすいものとなっている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年	音楽・702	中学生の音楽1
		第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	音楽・803 音楽・804	中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下
取扱内容	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までと我が国の民謡について、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技能を身に付けることができるよう創意工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 斉唱から混声四部合唱までと我が国の伝統的な「唄」について、曲想と歌詞の結び付きを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現ができるよう創意工夫されている。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 我が国の民謡や伝統的な音楽、郷土音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって鑑賞できるようになっている。</p> <p>第2・3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞できるようになっている。</p> <p>○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 活動内容に示された[共通事項]を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関りを感じ取って聴いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>第2・3学年～ 活動内容に示された[共通事項]を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聞いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>第2・3学年～ 「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等 ・</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>第2・3学年～ 文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 「My Voice!」で発声の基本や歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「曲のよさをプレゼンしよう」でプレゼンする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 楽曲に関する資料をすぐに確認しやすいよう配置されており、活用しやすい図が用いられている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1・2・3学年	器楽・751	中学器楽 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ アンサンブル曲に、鑑賞教材とリンクした曲など、生徒に馴染みのある曲を多く掲載している。 ○ [共通事項]については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。 			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
内容の構成・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ リコーダーでは、運指が楽譜の近くに表示されていて、リコーダーに苦手意識を持つ生徒への意欲喚起につながるような工夫がなされている。 ○ ギター&キーボード コード表は、表の構成・説明が丁寧である。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1・2・3学年	器楽・752	中学生の器楽
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている ○ アンサンブル曲に、「笑点」、「海の見える街」など、生徒に親しみのある曲を多く掲載している。 ○ [共通事項]については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。 			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
内容の構成・分量等・	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な音楽に触れることができるように、様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ リコーダーでは、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの同じ指使いの楽譜を掲載し、アルトリコーダーの導入がしやすい工夫がなされている。 ○ ギター／キーボード コード表は、奏者の視点から作図され、分かりやすい。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			